

## 生薬の薬効表

この一覧表は私が富山医科薬科大学(現、富山大学)附属病院時代とサンウッド薬局古沢(現、アイン薬局大学病院前店)時代の17年間にわたり和漢薬(煎じ薬)調剤に従事していた頃に、当時私達が調剤に使用していた生薬(保険適応外の生薬も含む)についてメモしていたものを後年独立した時にまとめたものになります。様々な資料や当時の和漢診療部長の寺澤教授から直接聞いた話なども含まれており、どの記載がどの資料によるかは今となっては全くもって不明です。

過去にいくつかの薬局さんには配布済みですが、内容は作成した当時のままであえて修正などを加えずに公開しますので内容の誤記や不十分な部分があるかと思えます。従って利用されたとしたら他資料などで十分確認された方が良いでしょうと思いますが生薬に興味のある方は参考にして頂ければと思います。

生薬は読みの五十音順で記載し、**読み→生薬名→起源**(学名表記は長いので途中まで)→**科名→部位→薬効**(漢方独特の表現は別途調べてください)→**性質**(味、性、補、潤、降、収)の順で記載しています。また性質の不明な部分は「?」や「—」で表記しています。

なお生薬の**性質**については以下のようになります。

**味**: 生薬の味を示し、その味は対応する臓器を強化すると言われる。必ずしも現実の味とは同じではない場合もある。**酸**(サ): 酸っぱさ。**肝**と対応する。**苦**(ク): 苦さ。心と対応する。**甘**(カン): 甘さ。脾と対応する。**辛**(シン): 辛さ。肺と対応する。**鹹**(カン): 塩辛さ。腎と対応する。

**性**: 生薬のもつ体を暖めたり冷やしたりする作用の程度を示す。程度の著しいものには**大**を附記する場合もある。**寒**: 冷やす作用強い。**涼**: 冷やす作用が温和。**熱**: 暖める作用強い。**温**: 暖める作用が温和。**平**: 作用がどちらでもないもの。

**補/瀉**: 体を補う作用の程度を示す(表の項目では補の欄)。

**補**: 体を補い強化する作用。栄養をつける作用。**瀉**: 体に入ってきた、又は蓄積した余分なものを体外に追い出す作用。

**燥/潤**: 体への水分調整作用(表の項目では潤の欄)。

**燥**: 体内の水分を排泄する作用。乾燥の燥の意味。**潤**: 体内の水分を保持する作用。潤いをもたらす作用。

**升/降**: 体に対する作用の方向性(上下方向)を示す(表の項目では降の欄)。

**升**: 興奮、発汗、止瀉、下部出血防止など作用が上に向いて働く。**降**: 止汗、鎮吐、鎮咳、鎮静、上部出血防止、瀉下、利尿など作用が下に向いて働く。

**散/収**: 体に対する作用の方向性(内外方向)を示す。升/降に作用的に似る(表の項目では収の欄)。

**散**: 発散、発汗作用があり、作用が体外に向かって動く。**収**: 収斂、止汗作用、止瀉作用など作用が体内に向かって動く。

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
アキョウ	阿膠	ロハ <sup>°</sup> 、ラハ <sup>°</sup> の類	ウマ	膠	血を補い血虚を治す。止血作用。陰液を増して不眠、煩躁、咽喉乾燥による咳を治す。	甘	平	補	潤	降	収
アセンヤク	阿仙薬	Uncaria・ ..	アカネ	若枝 エキス	水滯を除き、滲出液の多い湿疹や化膿性皮膚炎を治す。止血作用。	苦 渋	平	—	—	—	—
アワ	粟	アワ	イネ	種子	陰液を益して脾胃の機能を高める。陰液不足による不眠、不安を治す。	?	?	—	—	—	—
イケイ	葦茎	アシ	イネ	茎	肺熱を冷まし肺の化膿性のできものを治す。根茎は芦根(ろこん)という	甘	寒	—	—	—	—
イレイセン	威霊仙	サキシマホ <sup>°</sup> タンヅル	キンホ <sup>°</sup> ウゲ <sup>°</sup>	根・ 根茎	風湿を除き、気の巡りを良くして除痛。痰水を除去し咳を鎮める。	辛	温	瀉	燥	降	散
インチンコウ	茵陳蒿	カラヨモギ <sup>°</sup>	キク	花穂	熱を冷まし、湿を去り、黄疸を除く	苦	微寒	瀉	燥	降	散
ウイキョウ	茴香	ウイキョウ	セリ	果実	気の停滞を巡らして胃の寒を除き胃痛、嘔吐、食欲不振を治す。	辛	温	補	燥	平	散
ウス <sup>°</sup>	烏頭	カヲトリカブ <sup>°</sup> ト	キンホ <sup>°</sup> ウゲ <sup>°</sup>	塊根	裏の寒湿を去り除痛。脾や腎を暖め代謝機能改善。鎮痛効果強い。	大辛	大温	補	燥	升	散
ウバイ	烏梅	ウメ(未熟)	バラ	果実	肺や腸の機能を整え、慢性咳嗽、慢性下痢を治す。水を益し止渴。回虫を駆除。	酸 渋	温	—	—	—	—
ウヤク	烏薬	テンダイウヤク	クスノキ	根	肝の気滞により生じた痛みを気を巡らし去る。腎を暖め寒を去り頻尿等を治す。	辛	温	補	燥	升	散
ウラジ <sup>°</sup> ロカ <sup>°</sup> シ	ウラジ <sup>°</sup> ロ ガシ	ウラジ <sup>°</sup> ロカ <sup>°</sup> シ	ブナ	葉	(胆石症、腎石症)	?	?	—	—	—	—
エンゴサク	延胡索	C orydalis・ ..	ケシ	塊茎	血を活性化する。気を巡らし気滯を治し、止痛、鎮痙。	辛 苦	温	平	燥	平	散
オウギ <sup>°</sup>	黄耆	キハナオウ ギ <sup>°</sup>	マメ	根	気益す。体表の防衛力高め止汗。利水により腫れを去る。気血不足による化膿性できものを治す。	甘	微温	補	平	升	平
オウゴン	黄芩	コガネバナ	シソ	根	湿(水滯)と熱による熱性症状を冷まし治す。心・肺・大小腸の熱を冷ます。肝の陽気過剰を除く。内熱亢進による出血を止める。妊娠を安定化する(女性)	苦	寒	瀉	燥	降	収
オウバク	黄柏	キハダ <sup>°</sup>	ミカン	樹皮	湿(水滯)を除き、熱による熱性症状を冷まし治す。腎・膀胱の熱を冷ます。	苦	寒	瀉	燥	降	収
オウヒ	桜皮	ヤマザクラ	バラ	樹皮	(鎮咳作用。湿疹・蕁麻疹を治す)	?	?	—	—	—	—
オウレン	黄連	オウレン	キンホ <sup>°</sup> ウゲ <sup>°</sup>	根	心・脾胃・肝胆の熱を去る。気逆を治す。肝気過剰を除く。	苦	寒	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
オンジ	遠志	イヒメハギ	ヒメハギ	根	気持ちを安らげる。痰を去る。できものを治す。	苦辛	温	補	燥	降	収
ガイハク	薤白	ラッキョウ	ユリ	鱗茎	胸部の気滞や水滞を巡らし胸痛や呼吸困難を治す。胃の気滞を巡らし下痢を治す。	辛	温	—	—	—	—
ガイヨウ	艾葉	ヨモギ	キク	葉・枝先	体を温め気虚に伴う寒性の出血を止める。寒や湿を除き鎮痛。	苦辛	温	瀉	燥	平	平
カゴソウ	夏枯草	ウツボグサ	シソ	花穂	肝の陽気過剰による目の発赤、腫脹、頭痛、めまいを治す。熱を冷ましリンパ節結節を散らす。降圧作用。	辛苦	寒	—	—	—	—
カシ	訶子	ミロバラン	シクンシ	果実	過敏な腸動きを調整し下痢を止める。肺虚による咳嗽を治す。喉の通りを良くする。	苦酸渋	温	—	—	—	—
カシュウ	何首烏	ツルトクダミ	タデ	塊根	陰液を増し血を補い、腎の気を益して、目のかすみ、腰のだるさ、下肢の無力、を治す。腸を潤し便通を良くする。腫脹を治す。	苦甘渋	温	補	平	升	収
ガジュツ	莪朮	ガジュツ	ショウガ	根茎	気滞血瘀による腫瘍を解消する(女性:無月経等)。腹部の気滞を改善し腹部膨満感、腹痛を治す。	苦辛	温	—	—	—	—
カクコウ	藿香	パチョリ	シソ	全草	暑を冷まし暑気あたりを治す。水滞を巡らし鎮嘔。気を巡らし腹部膨満、食欲不振を治す。	辛甘	微温	—	—	—	—
カクコン	葛根	クス	マメ	根	表の仮の寒を除き、悪寒・頭痛・発熱を治す。発疹を治す。水を産生し滋潤し鎮痙し項背こわばり・痙攣を治す	甘辛	平	補	潤	升	散
カッセキ	滑石	珪酸アルミニウム	—	鉱物	水を巡らし、排尿困難、尿量減少を治す。熱を冷まし、暑熱による口渇、胸苦、口渇を治す。	甘	寒	平	燥	降	散
カロコン	瓜呂根	キカラスウリ	ウリ	根	水を産生して熱を冷まし、燥を潤し口渇、多飲を治す。肺熱性の咳を治す。腫れを去る。	甘酸	寒	瀉	潤	降	収
カロニン	瓜呂仁	キカラスウリ	ウリ	種子	肺を潤し痰を除く。腹部の気滞を巡らし便通を良くする。	苦	寒	平	潤	降	散
カンキョウ	乾姜	ショウカ (蒸乾燥)	ショウガ	根茎	脾胃を温め陽気を高め、腹部冷痛、下痢等を治す。肺を温め咳、背部冷感を治す。(健胃・発表は生姜が優る)	大辛	大熱	平	潤	降	散
カンシツ	乾漆	ウルシ	ウルシ	樹液	血の滞りを巡らす。通経により月経不順の改善。寄生虫を駆除する。	辛苦	温	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
カンツイ	甘遂	Euphorbia...	トウダイクサ	根	強力な利尿により浮腫、腹水、胸水を去る。腫れものを治す。	苦	寒	—	—	—	—
カンゾウ	甘草	カンゾウ	マメ	根	脾胃を補い気を益し消化能改善。肺潤し鎮咳。脾胃寒に伴う四肢痙攣を治す。解毒作用。諸薬の薬効の調整作用。	甘	平	平	潤	平	収
カントウカ	款冬花	フキタンホポ	キク	花蕾	肺を潤し気逆を治し鎮咳、去痰する。	辛	温	—	—	—	—
キキョウ	桔梗	キキョウ	キキョウ	根	肺の熱を冷まし、気の働きを上げて、痰の多い咳、痰を出しにくい咳、声が出にくい状態を治す。黄色痰などの排出に効果あり。	苦辛	平	瀉	平	升	散
キカ	菊花	キク	キク	頭状花	風熱を除き、発熱、頭痛を治す。肝の陽気過剰の気を巡らし、めまい、目赤腫痛等を治す。	甘苦	微寒	瀉	燥	降	散
キコク	枳殻	タイタイ(成熟)	ミカン	果実	胸脇部・胃部の気滞を巡らし蠕動運動を促す。水滞による胸部の痞えを取る。薬性温和(母の説教;寺澤教授曰く)。	苦酸	微寒	瀉	燥	降	散
キシツ	枳実	タイタイ(未熟)	ミカン	果実	胸脇部・胃部の気滞を巡らし蠕動運動を促す。水滞による胸部の痞えを取る。薬性烈で急(父の説教;寺澤教授曰く)。	苦酸	微寒	瀉	燥	降	散
キセイタケ	寄生竹	カワラタケ	サルノコシカケ	全茸	制ガン、新陳代謝の促進、健胃、強壯	?	?	—	—	—	—
キツピ	橘皮	タチバナ	ミカン	果皮	脾胃の気滞を巡らし、上腹部の膨満、悪心、嘔吐を治す。水滞による食欲不振の改善、鎮咳・去痰作用あり。	苦辛	温	—	—	—	—
キトウ(キヌ)	帰頭	カラトウキ	セリ	根頭	当帰頭ともいう。寒を散らし止痛、腹部温め止血(吐血、鼻出血、血尿、血便、不正性器出血、腹部の冷え)	?	?	—	—	—	—
キバン	亀板	クサガメ	イシガメ	腹甲	肝の陰液不足、陽気過剰状態を改善しめまい、目のかすみ、けいれんを治す。腎を補い腰・足の無力を治す。心血虚を補い動悸、不眠を治す	甘鹹	寒	—	—	—	—
キョウカツ	羌活	Notopterygium..	セリ	根・根茎	風湿を去り、表証(悪寒、発熱、関節痛、頭痛等)を治す。風寒湿による関節痛、筋肉痛を治す。	辛苦	温	瀉	燥	升	散
キョウサン	僵蚕	カイコ(ムスカルジン寄生)	カイコ	虫体	肝の陽気の過剰状態にある興奮・痙攣を治す。風熱と肝熱による頭痛、目の充血、咽頭痛等を治す。去痰作用。	鹹辛	平	—	—	—	—
キョウニン	杏仁	ホンアンズ	バラ	種子	肺を潤し鎮咳・去痰。腸を潤し便通をよ	苦	温	瀉	潤	降	散

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
					くする。						
キンギンカ	金銀花	スイカズラ	スイカズラ	花蕾	風熱による熱を冷まし発熱、悪寒を治す。化膿性のできものを治す。	甘	寒	—	—	—	—
クコシ	枸杞子	クコ	ナス	果実	肝と腎の機能を補い、視力減退、足腰無力に用いる。血水の生成し陰液不足の咳に用いる。根皮は地骨皮。	甘	平	—	—	—	—
クジン	苦参	クララ	マメ	根	熱を帯びた水滯による下痢、黄疸に用いる。風を去り皮膚掻痒、化膿性皮膚炎に用いる。利尿作用。	苦	寒	瀉	燥	平	平
ケイガイ	荊芥	ケイガイ	シソ	花穂	風寒を去り表証(頭痛、発熱、悪寒、無汗、咽頭痛等)を治す。発疹、掻痒を治す。止血作用。	辛	微温	瀉	燥	降	散
ケイケツトウ	鶏血藤	昆明鶏血藤	マメ	茎	補血、活血により関節のだるさ・痛み、手足の痺れ、四肢まひ、女性では無月経に用いる。気の巡りを良くして筋肉の麻痺を改善する。	苦微甘微渋	温	—	—	—	—
ケイシオウ	鶏子黄	鶏の卵	—	卵黄	血を益し陰液で潤す。肝の過剰な陽気を巡らす。	?	?	—	—	—	—
ケヒ	桂皮	Cinnamomum cassia Blume	クスノキ	樹皮	気血の巡り良くし気逆を治す。風寒による表証(頭痛、発熱、悪寒)を治す。心脾の陽気不足による証を改善する。	辛甘	温	補	燥	平	散
ケツメイシ	決明子	エビスグサ	マメ	種子	風熱もしくは肝陽気を冷まし目の充血、腫痛などを治す。腸を潤し、腸燥の便秘を通ず。	苦甘鹹	微寒	—	—	—	—
ゲンカ	羌花	ジンチョウゲ	フシモトキ	花蕾	余剰な水を除き浮腫、胸水、腹水を治し、鎮咳・去痰する。感染性皮膚疾患にも利用。	辛苦	温	—	—	—	—
ゲンジン	玄参	Scrophularia...	ゴマノハグサ	根	陰液補い、熱を冷まし血行改善し、口渇、身熱、咽喉腫痛、鼻炎、便秘等を治す。	苦鹹	微寒	—	—	—	—
コウイ	膠飴	米を蒸し麦芽で糖化	イネ	種子	滋潤栄養し、脾胃を補い腹痛を緩める。肺を潤し鎮咳。	甘	微温	補	潤	升	散
コウカ	紅花	ペニバナ	キク	花	瘀血を改善し血行を良くし、打撲、関節疼痛、生理痛(女性)、血栓閉塞等を治す。	辛微苦	温	瀉	潤	降	散
コウシ	香鼓	ダイズ(発)	マメ	種子	風熱による発熱、悪寒、頭痛を治す。熱	苦	寒	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
		酵、納豆)			証による胸内苦悶、不眠等を治す。						
コウシン	紅参	オタネニンシ <sup>ン</sup> (蒸→乾燥)	ウコギ <sup>ク</sup>	根	脾を補い気を益す。津液増加。気持ちを安める。人参より血流増加。	?	?	—	—	—	—
コウブシ	香附子	ハマズゲ <sup>ク</sup>	カヤツリグサ	根茎	肝の気滞を巡らし腹部腫痛、季肋部痛を治す。婦人病に伴う疼痛を治す。	辛微苦	平	補	燥	降	散
コウベイ	粳米	イネ	イネ	玄米	脾胃を補い気を益す。津液益し強い口渇を除く。下痢止め。	甘	平	補	潤	降	散
コウホク	厚朴	ホオノキ	モクレン	樹皮	気を巡らし気滞による腹部膨満、消化器症状を治す。湿を除き痰の多い咳、呼吸困難を治す。	苦辛	温	瀉	燥	降	散
コウホン	蒿本	カサモチ	セリ	根	風寒による表証(頭痛、頭頂痛、歯痛等)を治す。風寒湿によるしびれ、関節痛を治す。	辛	温	—	—	—	—
ゴシツ	牛膝	ヒナタイノコズチ	ヒユ	根	瘀血を除き血行改善し打撲痛、婦人病の痛みを治す。肝腎を補い腰痛、下肢無力を治す。利尿により排尿困難等を治す。	甘微苦	平	平	燥	降	散
ゴシユ	呉茱萸	ゴシユ	ミカン	果実	脾胃を暖め寒を去り腹部の痛み、下痢を治す。肝の陽気亢進を抑え頭痛、嘔吐を治す。寒湿による疼痛を抑える。	辛苦	大熱	平	燥	降	散
ゴホウシ	牛蒡子	ゴホウ	キク	果実	風熱を除き、咳・喉の腫脹を治す。熱を冷まし化膿性疾患、皮疹を治す。	辛苦	寒	瀉	潤	降	散
ゴマ	胡麻	ゴマ	ゴマ	種子	血虚・津液不足による腸を潤し便通する。肝腎を滋養し、めまい、目のかすみを治す。	甘	平	補	潤	降	散
ゴミシ	五味子	チョウセンゴミシ	マツブサ	果実	肺機能不足からの気逆による咳、呼吸困難を治す。津液不足による口渇、寝汗を治す。腎虚を治し、止瀉作用。	酸	温	補	潤	降	収
サイコ	柴胡	シマサイコ	セリ	根	肝の気滞を去り頭痛、胸肋痛等を治す。少陽証(往来寒熱、口苦、口渇、めまい)を治す。表証(発熱)を治す。気虚を改善。	苦	微寒	瀉	燥	升	散
サイシン	細辛	ウスハ <sup>ク</sup> サイシン	ウマノスズクサ	根・根茎	風寒による頭痛、歯痛、関節痛を治す。肺を温め咳、希薄な痰、鼻閉を治す。	辛	温	瀉	燥	降	散
サイチャ	細茶	チャ	ツバキ	葉	興奮作用、水を調整し口渇を治し、利尿作用、去痰作用。咽頭炎や口内炎を治	苦甘	涼	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
					す。						
サフラン	サフラン	サフラン	アヤメ	柱頭	血の巡りを良くする。鎮静・鎮痛作用、通経	甘	平	—	—	—	—
サンザシ	山楂子	サンザシ	バラ	偽果	血の滞りを改善、消化不良の改善、止瀉作用	酸甘	微温	瀉	潤	平	平
サンシ	山梔子	クチナン	アカネ	果実	熱を冷まし胸内の苦悶感を除く。血熱を冷まし吐血、血尿などを治す。心・肝・肺・腎の熱を冷ます。	苦	寒	瀉	燥	降	収
サンシュユ	山茱萸	サンシュユ	ミズキ	偽果 果肉	肝と腎の作用を高め腰膝疼痛・だるさ、尿失禁などを治す。	酸渋	微温	補	潤	降	収
サンショウ	山椒	サンショウ	ミカン	果皮	腹部を温め脾胃の寒を去り、腹部冷え、嘔吐、下痢を治す。湿を去り利尿。回虫による腹痛を治す。	辛	大熱	補	燥	降	散
サンソウニン	酸棗仁	サネブトナツメ	クロウメモドキ	種子	陰液補い心肝の気の亢進を抑え不眠、動悸、気持の高ぶりを抑える。寝汗、自汗を治す。	苦酸	平	補	潤	降	収
サンヤク	山薬	ナガイモ	ヤマノイモ	根茎	脾胃の働きを補い気を高め、食欲不振、下痢などを治す。肺の気液を益し鎮咳。腎虚を補い頻尿、滞下(女性)を治す。	甘	微温	補	潤	升	収
サンリョウ	三稜	ミクリ	ミクリ	根茎	血の滞りを巡らし、婦人病に伴う腹痛を治す。腹部の気の滞りを巡らし腹痛、腹部膨満を治す。	苦	平	—	—	—	—
ジオウ	地黄	アカヤシ'オウ	ゴ'マノハグサ	根	血を補い、血の熱を冷ます。陰液を益す作用。乾地黄ともいう。	甘苦	寒	—	—	—	—
シオン	紫苑	シオン	キク	根	肺虚による慢性の咳、血痰などを治す。	辛苦	温	—	—	—	—
ジコッピ	地骨皮	クコ	ナス	根皮	血熱を冷まし、熱性疾患、寝汗、吐血等を治す。肺熱を冷まし鎮咳する。	苦鹹	寒	平	潤	平	収
シコン	紫根	ムラサキ	ムラサキ	根	血熱を冷まし、血の作用を高め、毒を去り、麻疹、湿疹、火傷等を治す	0	0	—	—	—	—
シソ	紫蘇子	チリメンジソ	シソ	種子	気逆を改善し、余剰水を除き、咳、痰を治す。腸を潤し便通を良くする。	辛	温	—	—	—	—
シツリシ	蒺藜子	ハマビシ	ハマビシ	果実	肝の陽気の過剰を改善し、頭痛、めまい、胸脇部の張り等を治す。血の滞りを巡らし風熱による目の充血を治す。かゆみを止める。	辛苦	微温	平	平	平	散
シテイ	柿蒂	カキ	カキ	花萼	気逆によるしゃっくりを治す。	苦渋	温	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
シャカンゾウ	炙甘草	カンゾウ(炙ったもの)	マメ	根	甘草より中を温める作用強い。脾胃を補い気を益し消化能改善。肺潤し鎮咳。脾胃寒に伴う四肢痙攣を治す。解毒作用。諸薬の薬効の調整作用。偽アルドステロン症発現が甘草より低い。	甘	平	—	—	—	—
シャクショウス	赤小豆	アズキ	マメ	種子	熱を冷まし化膿性炎症を治す。利尿し浮腫を去る	甘酸	平	—	—	—	—
シャクセキン	赤石脂	酸化鉄等含む粘土	—	鉱物	腸への収斂作用で下痢を止める。止血作用による不正性器出血(女性)	甘酸	温	—	—	—	—
シャクヤク	芍薬	シャクヤク	ポタン	根	血熱を冷まし、血の滞りを巡らし、寝汗、自汗、女性では生理不順などを治す。肝の陽気亢進を抑え、脇肋部痛、平滑筋・骨格筋の筋肉痙攣、めまい、頭痛を治す。	苦	微寒	補	潤	平	収
シャコサイ	庶鴿菜	マクリ(紅藻の一種)	フジマツモ	全藻	駆虫、解毒。止瀉。別名;海人草	?	?	—	—	—	—
シャゼンシ	車前子	オオハコ	オオハコ	種子	利尿し排尿障害を治し下痢を止める。肝熱を冷まし目の充血等を治す。肺熱を冷まし鎮咳・去痰(多い)する。	甘	寒	瀉	燥	降	散
シャチュウ	しゃ虫	シナコキブリ	ゴキブリ	雌	血栓を解消し瘀血を除く	鹹	寒	—	—	—	—
ジュウヤク	十薬	トクダミ	トクダミ	全草	熱を冷まし感染性の肺炎の咳、吐血、粘稠痰等を治す。熱性炎症(尿路感染等)の利尿。	辛	微寒	—	—	—	—
ジュクジノウ	熟地黄	アカヤシノウ(蒸乾燥)..	ゴマノハグサ	根	血を補い、陰液を増し、血虚の証を治す。腎陰液不足による寝汗、熱症、口渴などを治す。(乾地黄より補血作用強い)	甘	微温	補	潤	升	収
シュクシャ	縮砂	Amomum ...	ショウガ	種子	気の巡りを良くし胸内・腹部の気滞を除き、食欲不振、嘔吐、下痢を治す。脾胃を温め脾寒による下痢を治す。女性では妊娠悪阻にも利用。	辛	温	補	潤	升	収
ショウキョウ	生姜	ショウガ	ショウガ	根茎	脾胃作用を増し気生成。発汗し表証(悪寒・発熱・頭痛等)を治す。脾胃を温め嘔吐を治す。風寒による咳を治す。(温中効果は乾姜が強い)	辛	微温	補	燥	升	散
ジョウザン	常山	ジョウザン	ユキノシ	根	催吐作用により胸中の水滞を取り除く。	苦	寒	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
		アジサイ	タ		マラリアの治療に用いる。						
ショウジオウ	生地黄	アカヤシ <sup>オ</sup> ウ(生)	コ <sup>マノ</sup> ハグサ	根	熱を冷まし、血熱を冷まして、身体熱、口渇などを治す。陰液を益す。(乾地黄より清熱作用が強い)。	甘	大寒	平	潤	升	収
ショウバク	小麦	コムギ <sup>キ</sup>	イネ	種子	気血補い、寒・気滞による上腹部痛、嘔吐等を治す。止瀉作用、止汗作用、気持を落ち着かせる作用などあり。	甘	涼	補	潤	降	収
ショウマ	升麻	サラシナシ <sup>ョ</sup> ウマ	キンホ <sup>ウ</sup> ウゲ <sup>ウ</sup>	根茎	風熱による表証(頭痛や皮膚疾患)を治す。熱による頭痛、歯痛、口内炎を治す。気を益し気虚(内蔵下垂等)を改善。	甘 苦	微寒	瀉	燥	升	散
ショウリク	商陸	ヤマコ <sup>ホ</sup> ホウ	ヤマコ <sup>ホ</sup> ホウ	根	利水により水腫、排尿困難、便秘を治す。	苦	寒	—	—	—	—
シラカワブシ	白河附子	オクトリカブ <sup>ト</sup>	キンホ <sup>ウ</sup> ウゲ <sup>ウ</sup>	塊根	脾、腎に限らず諸臓器の陽気衰え冷えに対する温効果強い。寒湿に伴う疼痛の緩和(本剤は鎮痛効果が強い)	大辛	大熱	補	燥	升	散
シンイ	辛夷	タムシバ <sup>ハ</sup>	モクレン	花蕾	風寒を去り、頭痛、鼻づまり、膿性鼻汁を治す。	辛	平	瀉	燥	升	散
シンキ <sup>キ</sup>	晋耆	hedysarum polybtry s...	マメ	根	皮膚への作用は黄耆より優る?	?	?	—	—	—	—
ジンギョウ	秦艽	リンドウ <sup>ウ</sup> の類	リンドウ	根	風湿による全身・関節の痛み、しびれによる運動障害を治す。虚が進み過ぎて発生した熱を冷ます。	苦 辛	微寒	—	—	—	—
シンキク	神麴	酵母発 酵製品	複合 物	—	消化を助け滋養、止瀉作用	甘 辛	温	平	燥	平	散
ジンコウ	沈香	Aguilaria ...	ジンチ ョウゲ <sup>ウ</sup>	材	気を巡らし胸腹部の痞え、痛みを治す。気逆を治し、嘔吐、しゃっくりを治す。腎を温め気を調整し咳を治す。	辛 苦	温	—	—	—	—
シンピ <sup>ウ</sup>	秦皮	トネリコ	モクセイ	樹皮	熱を冷まし、細菌性の下痢の症状を治す。肝熱を冷まし目赤腫痛、視力障害を治す。	苦	寒	—	—	—	—
スイテツ	水蛭	ウマビル	ヒルト <sup>ウ</sup>	全虫 体	血栓を解消し瘀血を除き、打撲によるうっ血状態、女性では無月経等を治す。	鹹 苦	平	—	—	—	—
セイソウ	蜻蛉	コカ <sup>ネムシ</sup> カフトムシ	—	幼虫	駆瘀血作用。堅満痛、月閉、目中淫膚青翳白膜を主る	鹹	微温	—	—	—	—
セイヒ	青皮	ウンシュウミ カン(未	ミカン	果皮	肝の気のうっ滞を巡らし、胸脇部、乳房腫脹痛等を治す。不消化で上腹部の痞	苦 辛	温	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
		熟)			え、膨満感での痛みを治す。						
セキケツメイ	石決明	アワビ	ミカイ	殻	肝の陽気の高ぶりを鎮めめまい、目の充血や目のかすみを治す。	鹹	平	—	—	—	—
セッコウ	石膏	含水硫酸カルシウム	—	鉱物	熱を冷まし、口渇・熱症・うわ言、肺熱による咳嗽・咳、胃熱による頭痛・歯ぐき腫痛を治す。	辛甘	大寒	瀉	潤	降	散
センキュウ	川芎	センキュウ	セリ	根茎	瘀血を去り気を巡らし打撲腫痛、四肢麻痺、女性では生理痛等を治す。風湿除き頭痛、しびれ等の鎮痛。肝気過剰を抑制、気逆を治す	辛	温	補	潤	升	散
ゼンコ	前胡	Peucedanum...	セリ	根	肺熱時の去痰、風熱を去り発熱、痛み、鼻水、咳を治す	苦辛	微寒	瀉	潤	降	散
センコツ	川骨	コウホネ	スイレン	根茎	血を巡らし打撲腫を治し、利水作用により浮腫を治す。健胃作用。	甘	寒	補	—	—	収
センタイ	蝉退	スミアカマゼミ	セミ	脱皮殻	風熱を去り、発熱、頭痛などの熱証を鎮める。麻疹の初期・皮膚病。肝陽気亢進による目赤、小児の痙攣・夜泣きを治す	甘鹹	寒	瀉	平	平	散
センブクカ	旋覆花	オグルマ	キク	花	水の滞りを改善し、去痰、鎮咳、利尿する。気逆を改善して鎮嘔。	苦辛鹹	微温	—	—	—	—
センレンシ	川蓮子	トウセンタン	センダ	熟果実	肝の気滞を巡らし、熱証の胸肋部の痛みを治す。駆虫作用・抗真菌作用	苦	寒	—	—	—	—
ソウキセイ	桑寄生	ヤドリギ	ヤドリギ	茎	肝腎の機能を補い、風湿を去り、腰膝の痛みや痺れを改善する。妊婦の下腹部痛にも応用。	苦	平	—	—	—	—
ソウジュツ	蒼朮	ホソハオケラ	キク	根茎	健脾燥湿(白朮と比べ燥湿>健脾)。過剰な津液(水腫)を去る。風寒湿による下肢の痛みを治す。よって祛風除湿がメイン。発汗。脾補い、気益す作用は弱い。	苦辛	温	瀉	燥	升	散
ソウスク	草豆蔻	アルピニア・カツマダイ	ショウガ	成熟果実	水滞を除き、気滞を巡らし、脾胃を温めることで、寒湿が脾胃に留まった状態を治し、腹痛、嘔吐、下痢等を治す。	辛	温	—	—	—	—
ソウハク	葱白	ネギ属	ネギ	葉鞘の白い部	発汗して表証(感冒初期症状)を治す。内部の寒を去り気の巡りを良くし腹痛、排尿困難を治す。	辛	温	—	—	—	—
ソウハクヒ	桑白皮	クワ	クワ	根皮	肺の熱を冷まし、咳を和らげる。水の巡りを良くして浮腫を去る(解熱、鎮咳、利尿)	甘辛	寒	瀉	燥	降	散

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
ソホク	蘇木	スホウ	マメ	材	血の巡りを良くして、痛みを止め、出血を止める。炎症を抑える。	甘鹹	平	瀉	平	降	平
ソウ	蘇葉	シソ	シソ	葉	気を巡らし胃腸調整。気逆を治す。発汗し表証を和らげる。魚毒を治す。	辛	温	瀉	燥	降	散
ダイオウ	大黄	Rheum 属.	タデ	根茎	瘀血を除き血行改善。熱をさます。宿便を除く。気を巡らす	苦	寒	瀉	燥	降	収
ダイゲキ	大戟	Knoxia...	アカネ	根	峻下作用により浮腫や腹水を去る。熱毒による化膿性の腫れものを去る。	苦	寒	—	—	—	—
タイシャセキ	代赭石	赤鉄鉱	—	鉱物	肝の気の亢進を抑え頭痛やめまいを治す。気逆を治し、嘔吐、げっぷ、喘息を治す。止血作用。	苦	寒	—	—	—	—
タイソウ	大棗	ナツメ	クロウメモドキ	果実	脾の作用を助ける。気持ちを落ち着かせる。諸薬の作用を調整する。	甘	温	補	潤	降	収
ダイフクヒ	大腹皮	ヒンロウシユ	ヤシ	果皮	気の巡りを良くし消化機能を改善。水の巡りを良くし浮腫みを去り、下痢を止める	辛	微温	—	—	—	—
タクシャ	沢瀉	サジ'オモダ'カ	オモダ'カ	塊茎	水の巡りを良くし利尿、止渴、抗めまい。熱を冷ます作用。	甘	寒	平	燥	降	散
タンジン	丹参	Salviamiltiorhiza	シソ	根	血を巡らす。血を冷まし炎症性腫脹を去る。気持ちを和らげる。	苦	微寒	—	—	—	—
チクジョ	竹茹	ハチク	タケ	稈内層	肺熱の熱を冷まし痰を去る。胃熱を去り煩悶や嘔吐を止める。	甘	微寒	瀉	潤	降	平
チクセツニンジン	竹節人參	トチハ'ニンジン	ウコギ	根	血を巡らし、腫脹を去る。止血、止痛。	甘微苦	温	—	—	—	—
チクヨウ	竹葉	ササクサ	イネ	葉	熱による煩悶・口渴を冷まし和らげる。水を生じ、利尿をはかる。	甘	寒	—	—	—	—
チモ	知母	ハナスゲ	ユリ	根茎	熱を冷まし炎症・興奮状態を治す。肺熱の津液を益して燥を潤し、鎮咳。	苦	寒	補	潤	降	散
チュウマオウ	中麻黄	E.intermedia...	マオウ	地上茎	麻黄よりも抗炎症作用強い(フソイト'エフェドリン含量高)	辛微苦	温	—	—	—	—
チヨウジ	丁字	Syzygium...	フトモモ	花蕾	腹部を温め、寒による気逆を治す(嘔吐、しゃっくり)。腎を温め腎の機能回復。	辛	温	補	燥	升	散
チヨウトウコウ	釣藤鈎	カギ'カズ'ラ	アカネ	鈎棘	肝の陽気の過剰を抑制し、痙攣、頭痛、頭重、めまいを治す	甘	微寒	瀉	平	降	平
チヨタンジュウ	猪胆汁	イノシシ	ブタ	胆汁	肺熱を除き去痰・鎮咳。炎症を押さえ解毒(腫痛、黄疸、赤痢、瘡瘍、腫毒)。起	苦	寒	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
					死回生薬(土佐 Dr 曰く)						
チヨレイ	猪苓	チヨレイマイ タケ	サルノ シカケ	菌核	余剰水を除き、熱を冷ます。利水作用は 茯苓より強。	甘 淡	平	平	燥	平	散
チンピ	陳皮	ウンシュウミ カン	ミカン	成 熟 果皮	気を巡らせ脾の作用(消化機能)高め る。湿を除き、痰をのぞく。	苦 辛	温	平	燥	平	散
テイレキシ	蒂瀝子	マメクシハ イナズナ	アブラ ナ	種子	肺熱を冷まし咳を抑える。利水作用によ り浮腫を除く。(緩下、利尿、解熱、鎮 静)	辛 苦	寒	—	—	—	—
テンシチマツ	田七末	サンシニン ジン	ウゴキ	根	血を巡らし止血、打撲など腫れの鎮痛。	甘 苦	微 温	—	—	—	—
テンナンショ ウ	天南星	マイツルテ ンナンショウ	サトイモ	塊茎	風を去り鎮痙。湿(水滯)を去り、去痰。	辛 苦	温	瀉	燥	降	散
テンマ	天麻	オニヤガラ	ラン	塊茎	肝の陽気の過剰を抑制し、痙攣、頭痛、 頭重、めまいを治す	甘	微 温	補	燥	降	散
テンモンドウ	天門冬	クサノスキカ ズラ	ユリ	根	陰液を益し口渇などを消渴する。肺熱を 去り去痰・鎮咳作用。	甘 苦	大 寒	補	潤	降	散
トウガシ	冬瓜子	トウガ	ウリ	種子	肺熱を去り去痰・鎮咳。体内のできもの を去る。熱を冷まし水を巡らす(利尿)。	甘	寒	瀉	燥	降	散
トウキ	当帰	トウキ	セリ	根	血を補い血を巡らし、鎮静・鎮痛。月経 を整える。血虚による腸燥を潤す(緩下 作用)。	甘 辛	温	補	潤	升	散
トウシンソウ	燈心草	イ	イグサ	茎髓	利水により熱証による尿量減少、排尿痛 を治す。心の陽気過剰を抑え不眠を治 す。	甘 淡	微 寒	—	—	—	—
トウニン	桃仁	モモ	バラ	種子	血の滞りを巡らし、血の作用を高める。 腸燥を潤し便通を良くする	苦 甘	平	瀉	潤	降	散
トシ	菟糸子	マメダオン	ヒルガ オ	種子	腎の陽気、陰液ともに補い、腎機能を回 復する(頻尿、ED、腰膝痛等)、肝腎不 足による視力障害を治す。脾虚による下 痢を治す。	辛 甘	平	—	—	—	—
トチュウ	杜仲	トチュウ	トチュウ	樹皮	肝と腎の機能を補い、筋骨を強める(腰 膝の疼痛、足膝軟弱、腎虚、流産)	甘 微 辛	温	補	平	降	散
トッカツ	独活	シシウド	セリ	根茎	風湿を去り、筋肉や関節の痛みとる。	辛 苦	微 温	瀉	燥	升	散
ニッケイ	肉桂	Cinnamo m okinawen se	クスノキ	樹皮	気血の巡り良くし気逆を治す。風寒によ る表証(頭痛、発熱、悪寒)を治す。心 脾の陽気不足による証を改善する。(桂 皮とほぼ同じ)	辛 甘	温	—	—	—	—

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
ニュウコウ	乳香	Boswellia ..	カンラン	樹脂	血の滞りを巡らし血の作用を高め、胃痛、風湿による痛み、打撲腫、女性では生理痛を治す。化膿性皮膚疾患を治す。	辛	温	—	—	—	—
ニンジン	人参	オタネニンジン	ウコギ	根	脾の作用を高め気を産生する力が強い。水を生じ渴を潤す。気持ちを落ち着かせる作用。	甘微苦	微温	補	潤	升	収
ニドウ	忍冬	スイカズラ	スイカズラ	葉・茎	熱を冷まし、腫れ物、喉や関節の腫痛を治す。	甘	寒	瀉	燥	降	散
ハイショウコン	敗醬根	オトコエシ	オミナエシ	根	血の滞りを巡らして、止痛効果。熱を冷まし内臓のできものを治す。	苦	平寒	—	—	—	—
ハイモ	貝母	アミガサユリ	ユリ	鱗茎	痰熱(粘稠痰)、口渇のある咳を治す。熱を冷ましてできものを治す。	苦甘	涼	瀉	潤	降	散
バクガ	麦芽	オオムギ	イネ	発芽中種子	脾の機能低下が肝の気滞に原因がある時に消化を助け食欲を改善する。乳汁うっ滞(女性)。	甘	平	補	平	平	散
ハクシュ	白酒	—	—	酒	気を巡らし寒を防ぎ、臓器を温め、他薬の効果を行き渡らせる。発酵酒なので日本酒で代用可。	—	—	—	—	—	—
ハクノウオウ	白頭翁	ヒロハオキナグサ	キンポウゲ	根	湿熱・熱毒を冷まし、発熱、腹痛、膿血便、痔出血、鼻血などを治す。	苦	微寒	—	—	—	—
ハクモントウ	麦門冬	ジャノヒゲ	ユリ	根	水を産生し燥熱による咳、痰の粘り、口渇などを治す。陽気過剰による不眠・烦躁を和らげる	甘微苦	微寒	補	潤	降	散
ハズ	巴豆	ハズ	トウダイグサ	種子	峻下、(頑固な便秘)。妊婦禁	辛	熱	—	—	—	—
ハチミツ	蜂蜜	ミツバチ	ミツバチ	花蜜	脾胃を補う。肺燥を潤し鎮咳。腸を潤し便を通じる。	甘	平	—	—	—	—
ハッカ	薄荷	ハッカ	シソ	地上部	肝陽気亢進治す。風熱による発熱・頭痛・悪寒、喉の炎症、眼の炎症を去る。表の邪を発散させ皮膚症状を改善	辛	涼	瀉	燥	降	散
ハマボウフウ	浜防風	ハマボウフウ	セリ	根・根茎	肺陰液不足を補い熱を冷まし痰の少ない咳を治す。消化機能を益し水を増やす。	甘苦	微寒	—	—	—	—
バンカ	蕃果	グアバ	フトモモ	果実	血糖低下、抗酸化、血管透過性の抑制作用など	?	?	—	—	—	—
ハンゲ	半夏	カラスビシャク	サトイモ	根茎	心下の水滯除く。気逆を治し気巡らす。胃調整し鎮嘔。湿性の痰(多痰)を除き去痰、鎮咳。	辛	温	補	燥	降	散

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
ハンビ	反鼻	マムシ	クサリヘビ	皮はぎ	強壯、興奮、(冷え性)	甘	温	—	—	—	—
ビヤクガイシ	白芥子	シロガラシ	アブラナ	種子	肺を温め去痰し鎮咳。気のうっ滞を巡らし胸腹部の膨満感を去る。湿を去り、関節の疼痛、痺れを治す。	辛	温	—	—	—	—
ビヤクゴウ	百合	ハカタユリなど	ユリ	鱗茎	肺熱または肺陰液不足を水で潤し、鎮咳、止渴。気持ちを和らげる。	甘苦	微寒	補	潤	降	散
ビヤクシ	白芷	ヨロイグサ	セリ	根	風湿を去り表証(頭痛、疼痛、鼻閉など)を治す。化膿性のできものを治す。	辛	温	瀉	燥	升	散
ビヤクジュツ	白朮	オケラ	キク	根茎	健脾燥湿(蒼朮と比べ健脾>燥湿)。脾補い、気益す作用強い。過剰な津液(水腫)を去る作用は弱い。止汗。妊娠の安定作用。	甘微苦	温	補	燥	平	収
ビワヨウ	枇杷葉	ビワ	バラ	葉	風熱による肺熱を冷まし去痰、鎮咳。胃熱による口渇や気逆に伴う嘔吐を治す。	苦	平	瀉	潤	降	散
ビンロウジ	檳榔子	ビンロウ	ヤシ	種子	気血を巡らし、尿量を増し水腫を去る。気を巡らし腹部膨満、便秘、下痢を治す。寄生虫にも効果。	苦辛	温	瀉	燥	降	散
ブクヨウ	茯苓	マツホト	サルノコシカケ	菌核	水を巡らし水腫を去る(筋肉痙攣、めまい)、脾の作用を助け気を益す。気持ちを和らげる。	甘	平	補	燥	降	収
フンボウイ	粉防已	シマハスノカズラ	ツツラフジ	根	テトランドラ。防已参照。	?	?	—	—	—	—
ベッコウ	別甲	シナスッホ	スッホ	甲羅	陽気が過剰で陰液不足になった発熱、口渇、痙攣などを治す。亀板より滋陰は劣るが清熱は強い。腫塊を散ずる作用。	鹹	寒	—	—	—	—
ヘンス	扁豆	インゲンマメ	マメ	種子	脾の気を補い利水により、脾虚有湿の食欲不振、慢性下痢、婦人での帯下を治す。暑湿による嘔吐、下痢を治す。	甘	微温	—	—	—	—
ホウイ	防已	オオツツラフジ	ツツラフジ	茎・根茎	熱証を示す風湿を去る。熱を冷まし鎮痛。利水作用により水腫、浮腫を去る	辛苦	寒	瀉	燥	降	散
ホウコン	茅根	チガヤ	イネ	根茎	血熱による各種出血を治す。熱性の水滯を冷まし利尿する。	甘	寒	—	—	—	—
ホウショウ	芒硝	含水硫酸ナトリウム	—	鉱物	熱証による便を下す。燥を潤し熱を冷まし腫を消し、痛みを除く。利尿	鹹苦	寒	瀉	潤	降	散
ホウチュウ	虻虫	アブ	アブ	雄虫体	血の滞りを巡らし、打撲のうっ血、女性では無月経などを治す。	苦	微寒	—	—	—	—
ホウフウ	防風	ホウフウ	セリ	根	風を去り表証(頭痛、悪寒など)を治す。	辛	微	瀉	燥	升	散

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
				根茎	湿を去り関節痛、筋肉痛を治す。	甘	温				
ホウブシ	炮附子	カタトリカブト	キンポウゲ	塊根	脾、腎に限らず諸臓器の陽気衰え冷えに対する温効果強い。寒湿に伴う疼痛の緩和(本剤は温効果が強い)	大辛	大熱	補	燥	升	散
ホククク	樺椒	クヌギ、ナラの類	ブナ	樹皮	駆瘀血、収斂、解熱、(各種皮膚病)	苦	0	—	—	—	—
ホコウエイコン	蒲公英根	カンサイタンポポ	キク	帯根	熱を冷ます作用で熱性できものを治す。熱性の水毒を冷まし利水する。	甘苦	寒	—	—	—	—
ホタンビ	牡丹皮	ホタン	ホタン	根皮	血熱を冷まし熱証を治す。血の滞りを巡らし瘀血状態を改善する。	辛苦	微寒	平	平	平	散
ホレイ	牡蠣	カキ	イタボガキ	左殻	肝の陽気の亢進を抑え気持ちを落ち着ける、不眠、めまいなどを改善。制酸	鹹渋	微寒	補	燥	降	収
マオウ	麻黄	Ephedra sinika	マオウ	地上茎	風寒による悪寒・発熱、頭痛、身体疼痛、鼻閉を去る。肺気滞による咳を治す。発汗し利水し、浮腫を除く。	辛微苦	温	瀉	燥	平	散
マシニン	麻子仁	アサ	クワ	果実	腸を潤滑にし通便。滋養し虚を補う。	甘	平	平	潤	降	平
マンケイシ	蔓荊子	ハマコウ	クマツヅラ	果実	風熱による頭痛・眼痛を除く。風湿による痺れを除く(鎮静、消炎、頭痛、関節痛)	辛苦	微寒	—	—	—	—
ミツシヤカンゾウ	蜜炙甘草	カンゾウ(蜂蜜と炙ったもの)	マメ	根	脾胃の不足を補う。炙甘草より中を暖める作用強い。偽アルドステロン症発現が炙甘草より軽減。	甘	平	—	—	—	—
モクツウ	木通	アケビ	アケビ	材	気逆を抑え口内炎症、煩躁を治す。水を巡らし利尿。(女性)産後の乳汁分泌促進。	苦	寒	瀉	燥	平	散
モッカ	木瓜	ホケ	バラ	果実	風湿を去り関節痛やしびれを去る。肝陽気過剰の筋痙攣を治す。気を巡らせ消化器症状の改善、止瀉。利水作用。	酸	温	—	—	—	—
モッコウ	木香	Saussurea...	キク	根	脾胃の気を巡らし腹痛、腹部膨満、下痢、嘔吐を治す。	辛苦	温	補	燥	平	散
ヤカン	射干	ヒオウキ	アヤメ	根茎	肺熱を去り、咽喉閉塞感を治し、余剰水を除き去痰。	苦	寒	—	—	—	—
ヤクモソウ	益母草	メハンギ	シソ	地上部	血を巡らし打撲、月経不順などの瘀血症状を治す。利尿作用で浮腫・排尿困難を治す。	辛微苦	微寒	瀉	燥	平	散
ヨクイニン	薏苡仁	ハトムギ	イネ	種子	利水し浮腫・下痢を治す。熱を冷ます。体内に出来た化膿部を治す。風湿による痺れ・疼痛を治す。脾の作用高め健胃。	甘淡	微寒	平	燥	降	散

読み	生薬名	起源	科名	部位	薬効	味	性	補	潤	降	収
ランソウ	蘭草	フジバカマ	キク	全草	水を巡らし、利尿、浮腫、唾液過多などを治す。暑湿による発熱、頭痛、嘔吐などを治す。	辛	平	—	—	—	—
リュウガンニク	竜眼肉	リュウガン	ムクロジ	仮種皮	心を補い気分を落ち着かせ、脾を補い気を益す。気血を益す。	甘	温	補	平	降	収
リュウコツ	龍骨	大型哺乳動物	—	化石	肝の陽気過剰を抑え、めまい、イライラ感を抑え、気持を和らげる。腎虚を治す。	甘渋	平	補	燥	降	収
リュウタン	龍胆	トウリントウ	リントウ	根・根茎	熱性の水滯を冷まし消化管の充血、炎症、尿道炎、リウマチを治す。肝の熱性亢進による痙攣・興奮を治す。	苦	寒	瀉	燥	降	収
リョウキョウ	良姜	リョウキョウ	ショウガ	根茎	腹部の寒を散らし温め、腹痛、嘔吐、水様便などを治す	辛	熱	補	燥	升	散
レイシ	霊芝	マンネタケ	サルノシカケ	子実体	神経衰弱、不眠、咳、慢性病への広い応用	甘	平	—	—	—	—
レイヨウカク	羚羊角	カモシカの類	ウシ	角	肝の陽気の亢進による手足痙攣、めまい、頭痛、目の充血を治す。熱を冷まし高熱時のうわごとを治す	鹹	寒	—	—	—	—
レンギョウ	連翹	レンギョウ	モクセイ	果実	風熱を冷まし発熱・頭痛・口渇を治す。熱性の化膿性疾患を治す(皮膚炎など)。	苦	微寒	瀉	燥	降	散
レンセンソウ	連銭草	カキオトシ	シソ	全草	利水により急性尿道炎、尿路結石を治す。湿熱による黄疸を治す。化膿症への応用あり。	微甘	寒	—	—	—	—
レンニク	蓮肉	ハス	スイレン	種子	脾虚による下痢、食欲不振を治す。腎虚を治し、遺精、不正性器出血を治す。心の異常による動悸・不眠を治す。	甘渋	平	補	燥	降	収

(終わり)